

別紙

温室効果ガス排出削減計画

氏名	(法人にあつては名称) 日本通運株式会社		住所	(法人にあつては主たる事業所の所在地) 〒105-8322 東京都港区東新橋1丁目9番3号	
本票作成	部署名：岡山支店 業務課				
主たる業種	分類コード	4	4	業種名：道路貨物運送業	
事業の概要	自動車輸送、鉄道利用輸送、海上輸送、船舶利用輸送、利用航空輸送、倉庫、旅行、通関、重量品・プラントの輸送・建設、特殊輸送、情報処理・解析などの物流事業全般				
県内の主な工場等	番号	工場等の名称		所在地	
	①	水島海運支店		倉敷市玉島乙島新湊8259番地15	
	②	岡山警送事業所		岡山市北区北長瀬表町1丁目6番23号	
	③	コンテナ課		岡山市北区野田4丁目1番90号	
	④	岡山物流センター		岡山市中区新築港6番6号	
	⑤	宇野海運支店		玉野市田井6丁目1番30号	
	⑥	引越・物流センター		倉敷市南畝3丁目7番37号	
特定事業者の該当要件	<input type="checkbox"/> ①燃料等原油換算1,500kl以上 <input checked="" type="checkbox"/> ②バス・トラック100台、タクシー250台以上 <input type="checkbox"/> ③CO <sub>2</sub> 換算3,000t以上 (●工場等の数 18 所 ●車両台数 (②該当の場合) 156 台)				

計画期間	平成 27 年度		～	平成 29 年度 ( 3 箇年度)			
削減目標	いずれかを選択	<input checked="" type="checkbox"/> 総排出量基準		目標削減率	目標区分		
		<input type="checkbox"/> 原単位基準				3.0 %	20%以上
温室効果ガス排出量	基準年度 (平成 26 年度)			目標年度 (平成 29 年度)			
	5,636 t CO <sub>2</sub>			5,469 t CO <sub>2</sub>			
基準年度の主な工場等の排出量	番号	工場等の名称		基準年度 (平成 26 年度) の排出量			
	①	水島海運支店		1,289 t CO <sub>2</sub>			
	②	岡山警送事業所		743 t CO <sub>2</sub>			
	③	コンテナ課		520 t CO <sub>2</sub>			
	④	岡山物流センター		514 t CO <sub>2</sub>			
	⑤	宇野海運支店		374 t CO <sub>2</sub>			
	⑥	引越・物流センター		317 t CO <sub>2</sub>			

※ 「計画期間」欄には、5箇年度以内で特定事業者が定める期間を記入する。

(原単位基準の削減目標を選択した場合に記入)	温室効果ガスの排出量と密接な関係をもつ値の内容		原単位当たり排出量	
			基準年度	目標年度
			t CO <sub>2</sub> / ( )	t CO <sub>2</sub> / ( )

(該当事業者のみ記入)

ベンチマーク指標の状況	対象事業の名称	ベンチマーク指標	関連数値 (平成 年度)	達成率 (%)

【目標削減率設定の基本的な考え方】

改正省エネ法でのエネルギー消費原単位を年平均1%以上低減させることを目標とする。

**【目標削減率達成のための推進体制】**

全社の経営計画として「環境貢献チャレンジ2015」として具体的取組目標を掲げて、様々な取組を進めている。特に、平成23年度下期に運用を開始した、エネルギー使用量等の見える化システム“Nittsu Ecology & Economy System” (NEES)を活用して、エネルギー使用の一層の削減対策を進める。

**【排出量削減のためのこれまでの主な取組】**

工場等の名称	取組内容
○全事業所 ①水島海運支店 ②岡山警送事業所 ③コンテナ課 ④岡山物流センター ⑤宇野海運支店 ⑥引越・物流センター	○「環境貢献チャレンジ2014」にて下記3項目に取組み チャレンジ1 総電気使用量(kwh)の対前年度5%削減 チャレンジ2 燃料消費率(軽油)の対前年度1%改善 チャレンジ3 コピー用紙使用枚数の対全年度10%削減 ①新型車両1台を導入 ②老朽化車両3台を減車・4台を新型車両へ代替 ③老朽化車両1台を新型車両へ代替 ④老朽化車両3台を減車・1台を新型車両へ代替 ⑤新型車両1台を導入 ⑥老朽化車両1台を新型車両へ代替

**【計画期間中に目標削減率を達成するために実施する措置】**

工場等の名称	措置内容
○全事業所 ①水島海運支店 ②岡山警送事業所 ③コンテナ課 ④岡山物流センター ⑤宇野海運支店 ⑥引越・物流センター	○「環境貢献チャレンジ2015」にて下記3項目に取組み チャレンジ1 総電気使用量(kwh)の対前年度5%削減 チャレンジ2 燃料消費率(軽油)の対前年度1%改善 チャレンジ3 コピー用紙使用枚数の対全年度10%削減 ①使用済み梱包資材の再利用・リサイクル ②老朽化車両4台を新型車両へ代替及びエコタイヤの積極導入 ③老朽化車両3台のうち2台を減車、1台を新型車両へ代替及びエコタイヤの積極導入 ④老朽化車両1台の新型車両を導入 ⑤グリーン物流の推進 ⑥オペレーション支援システム活用による車両の効率運用

**【森林保全等吸収源対策への取組計画】**

県内での取組	無	
その他	無	

**【再生可能エネルギーの導入計画】**

県内での取組	無	
その他	無	

**【その他特記事項】**

--